

# ナチュア グラッフィート

【標準施工要領書】

平成30年8月21日



二瀬窯業株式会社

## 関連施工資材

### ナチュア グラフフィート

外装用無機仕上材

内 容 量	25 kg
標準施工面積	2.6 m <sup>2</sup> /袋 (7 mm 塗厚時)
標準加水量	4.0~5.0 L/袋

### ユニレックス3

エチレン酢酸ビニル (EVA) 系合成樹脂エマルジョン

内 容 量	18 L
標準施工面積	600 m <sup>2</sup> /缶 (5倍希釈 150 g/m <sup>2</sup> 塗付時)

## ナチュア グラフフィートの塗付

### かき落とし仕上げ

- ① ナチュア グラフフィートに規定量の水（4.0～5.0 L）を加え、ハンドミキサーなどでよく混練してください。
- ② 吸水調整の完了した下地に、よく混練したナチュア グラフフィートを扱き塗りした後、追っかけにて7 mm程度塗り付けて下さい。
- ③ 表面のしまり具合を見て小判型のワイヤーブラシにて（表面の膜をはぐような感じで）かき残しの無いようにかき落としを行って下さい。（湿った材料がブラシの先にまとわりつかなくなる位が目安です）  
かき残しがあるとその箇所だけ色合いが変わりますので、かき残しがないようにまんべんなくかき落としして下さい。また、かき落としがはやいと、色ムラや脆さを生じる原因となります。
- ④ かき落とし終了後、左官刷毛等を使用して表面のくずをはらってきれいにして下さい。
- ⑤ 施工翌日にも乾いた左官刷毛等を使用して表面のくずをはらってきれいにして下さい。

### 【 注意 】

- ※ 練り返し時の加水は避けてください。
- ※ 同一現場においての練水量は、一定として混練してください。施工の途中で練水量が変わると、テクスチャーや発色が変わるなどの可能性があります。

## 施工上の注意

- 下地は十分に乾燥させた上で施工を行って下さい。
- 気温が5℃以下、もしくは5℃以下が予想される時には原則として施工を行わないで下さい。又、施工後、塗面が完全乾燥する前に、0℃以下になる恐れがある場合には施工を行わないで下さい。
- 施工前、施工後は雨風、直射日光など天候に十分注意し、必要ならばシート養生等を確実に励行して下さい。
- 降雨時及び降雨が予想される場合の施工は避けて下さい。
- 塗面が乾燥しきらないうちに雨に当てないで下さい。降雨の恐れがある場合には必ずシート養生を行い、塗面に雨がかからないよう十分に注意して下さい。
- 天端部分への施工はお避け下さい。汚れが付着しやすくなります。
- 特に湿気の多い場所への使用はお避け下さい。
- 施工前に試し塗りをを行い仕上がりを確認して下さい(サンプル板などとの比較)
- 塗り付け(配り塗り)とパターン付けとを分担し、スムーズな施工が行えるよう段取りをして下さい。
- 施工後、使用した道具は速やかに水洗いして下さい。
- ナチュア グラフフィートは練り置き後、夏季は20分、冬季は40分のうちに御使用下さい。また混練後は直射日光を避けてください。
- 水を入れての練り返しは避けて下さい。
- 使用する材料には、清水の他、当社が指定したもの以外のものを混ぜないで下さい。
- ナチュア グラフフィート及びヒットモルタルⅡはアルカリ性のためチリ廻りや幅木、サッシの養生は確実に行ってください。
- 使用する材料の保管は、セメントと同じく直射日光、湿気を避け、パレット等で地面から離して保管して下さい。